

どなたでも  
お気軽に  
ご参加  
ください。

JSSTシンポジウム

# 気候変動 適応策と技術 の社会実装を 考える

SYMPOSIUM ON  
CLIMATE CHANGE ADAPTATION  
TECHNOLOGY AND SOCIAL IMPLEMENTATION

2016年10月29日(土)

13:00~15:00

気候変動適応策技術と社会実装シンポジウム

気候変動の脅威から住民の安全や資産を守るため、地球科学、社会科学、人文学等の研究者と自治体関係者と協力し、将来必要となる適応策を見出し、そのために技術開発をすることが求められている現代。本シンポジウムでは、京都府をはじめとした気候変動に適応するための自治体の役割について、4名の講演者をお招きし、国内事情及び海外事情（ケニア）を含めた、最新事情についてご講演いただく機会に恵まれました。本シンポジウムは、市民の方に開かれたシンポです。多くの方のご参加をお待ちいたしております。

場所：京都大学 国際科学イノベーション棟5F 大ホール

後援：京都府

Keynote Speaker highlights (招待講演)

木村富士男 Fujio Kimura (13:00-13:30)

「将来の気候変動に適応するための技術開発と京都府をはじめとする自治体の役割」

Project Director of SI-CAT, Professor Emeritus, Tsukuba University

松田 克也 Katsuya Matsuda (13:30-14:00)

「京都府における気候変動の影響への適応の取組について」

Director of Global Warming Countermeasure Division,  
Kyoto Prefecture

馬場健司 Kenshi Baba (14:00-14:40)

「地域社会における気候変動適応策の社会実装化に向けた課題」

Professor, Tokyo City University

ムリアロ・ワフラ Muliario Wafula (14:40-15:00) (同時通訳)

"Application of Wireless Sensor Network and JKUAT Open Research Data Platform for Climate Change Monitoring in Kenya"

Associate Professor,

Director, ICT Center of Excellence and open Data, JKUAT, Kenya

13:00-15:00

国際科学イノベーション棟 5階

大ホール